

						A	優	良	
						B	良	好	
						C	課	題	含
						D	要	改	善
施設名	ひまわり荘	管理者	川西市 社会福祉協議会	所管課	福祉部 障害福祉課				
区 分		指定管理者自己評価結果 【指定管理者記入欄】		指定管理者一次評価 【市所管記入欄】		指定管理者二次評価 【外部評価者記入欄】			
評価項目及びポイント		評価レベル	なぜその評価に至ったか(説明)	評価レベル	なぜその評価に至ったか(説明)				
1 施設の設置目的の達成に関する取組み【有効性】		A		A		1 施設の設置目的の達成に関する取組み【有効性】			
(1-1) 施設の設置目的である事業運営の達成		A		A		(1-1) 施設の設置目的である事業運営の達成			
法令や利用のルール、事業計画に則って施設の事業運営が適切に行われたか、また、施設を最大限に有効活用するとともに、施設の設置目的に沿った成果が得られたか。		A	障害者総合支援法に基づいた事業運営を適切に行いました。サービス管理責任者の業務及び作成書類を随時チェックする体制を確立し法令順守にも努めました。サービス管理責任者が作成した、利用者主体の個別支援計画書に基づいた支援を行うことができました。	A	法令に基づき、適切な支援を実施している。				
利用に係る登録方法や手続について、利用者に対し十分に周知を行い、適正な方法で行われたか。		A	利用契約時には「重要事項説明書」「利用契約書」「個人情報使用同意書」で説明し、署名捺印をいただいています。また、法改定に伴う変更や加算変更についても、その都度説明を行っています。	A	適切な支援を実施している。				
施設の設置目的に応じた効果的な営業や広報活動を行い、その結果、効果があったか。		A	川西養護学校等の在校生に対し見学や定期的な体験実習を実施し施設への理解を深めることで、令和5年4月には新規利用者4名と契約できました。また、地域ボランティアの受け入れを再開し、施設に対する理解を深めました。	A	積極的に関連機関と連携を行い、見学・実習を受入れ、契約につなげている。	入浴対応をしている。利用契約者の入浴待機待ちはない。重度の障がい者が利用する施設で、計画相談支援員からの依頼はあるものの、主に川西養護学校の卒業後の進路先として選ばれている。			
< 課 題 >		今後も川西養護学校や関係機関との連携を密に行い、新規利用者の確保につなげる必要があります。		引き続き相談支援事業所や支援学校と連携を進め、新規利用者の確保につなげる必要がある。					
< 改善内容 >		川西養護学校教員の施設見学を定期的に受け入れ施設への理解を深めました。また、相談支援事業所等へ施設の空き情報等を定期的に発信しました。		これまでの課題解決策に加えて、なお効果的な取り組みを行い、新規利用者が増えることを期待する。					
(1-2) 施設の利用状況及び事業への参加状況		A		A		(1-2) 施設の利用状況及び事業への参加状況			
施設の目的に則って、有効に活用(利用)されていたか。		A	利用者個々に個別支援計画書を作成し、入浴・排泄・食事・送迎等の日常生活支援サービスを提供しました。創作活動に関しても障害者作品展等に出展し入賞(優秀賞2名)されるなど利用者の創作活動意欲向上に努めました。また、所外活動や外部ボランティアの受け入れを再開し利用者の気分転換を図りました。	A	利用者のために創意工夫を凝らし、有効に活用されている。				
施設の利用者や実施された事業への参加者数の増加、サービス利用者の利用回数の促進など創意工夫が図られたか。		A	自己都合による欠席時の振替利用等を行い、利用回数増の積極的な働きかけを行いました。	A	利用者の利用しやすいように欠席時柔軟に対応をするなど、利用促進が図られた。				
< 課 題 >		利用者のニーズに合わせたレクリエーション(創作活動・レクリエーション・外部ボランティア)の見直しが必要です。また、今後もニーズの高い入浴サービスの安定した提供が必要です。		ひまわり荘が利用者や支援者から選ばれるよう、作業所の魅力を効果的に発信する必要があります。					
< 改善内容 >		ご家族とのコミュニケーションや連絡ノートを積極的に活用することでご家族のニーズやご希望を伺い、通所計画を作成することで利用回数の促進に努めています。		改善につながる効果的なプログラムの増加に期待したい。					
(1-3) 利用者の満足度		A		A		(1-3) 利用者の満足度			
利用者の満足度を把握するため、定期的にアンケート調査などを実施したか。		A	令和5年度は「連絡ノートの活用」(ご家族等に負担になっていないか)「好きな音楽」「好きな映画」等を中心に実施しました。	A	適切に行われている。				
利用者アンケート調査の結果から、施設利用者ニーズや満足度を把握し、事業の改善等が得られたか。		A	アンケートの結果から「連絡ノートの活用」を継続。また、「好きな音楽・映画」を施設でのBGMやビデオ鑑賞会等に反映しました。	A	アンケート結果を踏まえ、利用者ニーズに適切に対応された。				
利用者からの苦情に対して十分な対応がなされたか。		A	連絡ノートを活用し、日々の疑問や質問・相談に対してその都度お返事を記入しています。また、必要があればお電話や訪問で説明することによって、令和5年度は苦情等はありませんでした。	A	適切に行われている。				
アンケート調査以外に、さまざまな手法で利用者の意見を把握し、それらを反映させる取組みがなされたか。		A	施設長やサービス管理責任者が可能な範囲で送迎車両に同乗しご家族等とのコミュニケーションを積極的に図るようにしています。連絡ノートの活用や機関誌の発行(月1回以上)にて施設でのご様子を伝えることで施設への理解を深めました。	A	適切に行われている				
サービスの質を向上させるため具体的な取り組みを行ったか。また、取り組みの結果、どのような効果が得られたか。		A	定期的に利用者・ご家族と面談し、ニーズやご希望を把握し入浴・食事・排泄等の個別支援マニュアルを適宜見直す事でサービスの標準化を進めています。	A	適切に行われている				
< 課 題 >		新型コロナウイルス感染症が第5類へ移行したことから、所外活動や外部ボランティアの受け入れ再開など、安全に配慮し進めて行く必要がある。		将来に向け、より多くの利用者から意向を汲みとるための工夫が必要。					

						A	優	良
						B	良	好
						C	課	題 含
						D	要	改 善
施設名	ひまわり荘	管理者	川西市 社会福祉協議会	所管課	福祉部 障害福祉課			
区 分		指定管理者自己評価結果 【指定管理者記入欄】		指定管理者一次評価 【市所管記入欄】		指定管理者二次評価 【外部評価者記入欄】		
評価項目及びポイント		評価レベル	なぜその評価に至ったか(説明)	評価レベル	なぜその評価に至ったか(説明)			
<改善内容>		少人数のボランティアの受け入れや人混みを避けた所外活動を再開しています。実施の際は参加の有無を利用者・ご家族に確認のうえ希望者のみ実施しています。			利用者にとって有益なものとなるよう工夫を凝らすこと。			

						A	優	良	
						B	良	好	
						C	課	題	含
						D	要	改	善
施設名	ひまわり荘	管理者	川西市 社会福祉協議会	所管課	福祉部 障害福祉課				
区 分		指定管理者自己評価結果 【指定管理者記入欄】		指定管理者一次評価 【市所管記入欄】		指定管理者二次評価 【外部評価者記入欄】			
評価項目及びポイント		評価レベル	なぜその評価に至ったか(説明)	評価レベル	なぜその評価に至ったか(説明)				
2 効率性の向上に関する取組み 【効率性】		A		A		2 効率性の向上に関する取組み 【効率性】			
(2-1) 経費の節減		A		A		(2-1) 経費の節減			
施設の管理運営に関し、経費を効率的に節減するための十分な取組みが行われ、その効果が得られたか。		A	水道光熱費は、節水の慣行、照明・空調の節電等を周知徹底しました。燃料費については送迎車両の送迎ルートを都度調整し効率化を行い削減に努めました。	A	今後も経費節減に図られている。				
管理運営業務の遂行にあたり、業者発注や業務委託により行われる場合、適切な水準で行われ、経費が最小限となるような競争が行われたか。		A	業務委託業者との契約や備品(1万円以上)を購入する際は、複数業者から相見積もりを取り、安価な業者(物品購入)を選定し経費削減に努めました。保守点検等については併設する満寿荘と同日実施の条件を入れることで経費削減に努めました。	A	適切に経費節減が図られている。				
< 課 題 >		施設の老朽化に伴い修繕の必要性が生じます。また「蛍光灯の生産が減少している」ことから、照明のLED化を順次進める必要があります。		必要性、費用対効果、優先順位などについて検討を重ね、計画的に修繕すること。					
< 改善内容 >		修繕については「緊急性があるのか」「予算計上するのか」など川西市と相談・連携し改修に努めています。令和5年度、新たに食堂兼ホールの照明4か所をLEDに交換しました。		引き続き経費削減に努め、真に必要なものは市と協議されたい。					
(2-2) 収入の増加		A		B		(2-2) 収入の増加			
収入を増加させるための具体的な方法の検討や取組みを行ったか。		A	自己都合による欠席時等は、振替利用を積極的に働きかけ収入増に努めました。川西養護学校等在校生の体験実習を定期的・計画的に実施することで新規利用者の確保に努めました。	A	新規利用者確保に向けた取り組みなど工夫を凝らした取り組みができている。				
収入の増加など取組みの効果は得られたか。		A	体験実習等を継続的に実施した結果、令和5年4月に卒業生4名と新規契約し、令和5年度年間延べ利用者数が前年に比べ約620名の増となりました。	A	新規利用者確保のために、効果的な取り組みができている。				
< 課 題 >		利用者の高齢化等による退所も見込まれるため、引き続き新規利用者の確保が課題となります。		新規利用者の確保方策を含め、施設の規模にあった定員設定など新たな取り組みを検討する必要がある。		退去された方へのフォローとして、相談支援専門員を通じ退所後の状況を確認している。65歳になったら、介護保険へ切り替える。共生型の展開は現在考えていない。			
< 改善内容 >		川西養護学校、相談支援事業所等との連携を強化し新規利用者確保に努めています。養護学校等の体験実習の受け入れを継続実施しています。		引き続き関係機関との連携を強化し、新規利用者の確保につながる方策に取り組むこと。		慣れ親しんだ人が、制度上の狭間にいて介護保険の利用になってしまう。共生型サービスを検討の一つとして考えていただきたい、利用者中心というところで考えていただきたい。			
(2-3) 収支のバランスなど		A		A		(2-3) 収支のバランスなど			
収支のバランスは、適切であったか。		A	新型コロナに感染されたため、長期の欠席・入院等複数ありましたが、新規利用者が確保できたことにより、収支のバランスは適切に行えました。	A	工夫を凝らし、収支バランスをとろうと努めている。				
費用対効果を考えながら、経費の効果的で効率的な執行が行われたか。		A	事業費・事務費とも、物品購入の際には品質の支障がない範囲で常に低価格の物品を購入しました。	A	適切に行われている。				
収支の内容に不適切な点はなかったか。		A	未払金・未収金・前払金等明確であり、収支の内容に間違いはなく、適切に執行しました。	A	適切に行われている。				
< 課 題 >		施設が老朽化しているため、突発的に修繕の必要性が生じる可能性があります。水道光熱費・車両燃料費の高騰が続いています。		必要性、緊急性などについて検討すること。					
< 改善内容 >		利用者の増減に合わせ、送迎ルートの見直しを行い燃料費の削減に努めています。節水・節電に努めています。		今後も利用者を第一に考えた運営に努めること。また、収支バランスをとれるよう、新たな方策の検討を期待する。					

						A	優	良
						B	良	好
						C	課	題
						D	要	改
						善		
施設名	ひまわり荘	管理者	川西市 社会福祉協議会	所管課	福祉部 障害福祉課			
区 分		指定管理者自己評価結果 【指定管理者記入欄】		指定管理者一次評価 【市所管記入欄】		指定管理者二次評価 【外部評価者記入欄】		
評価項目及びポイント		評価レベル	なぜその評価に至ったか(説明)	評価レベル	なぜその評価に至ったか(説明)			
3 公の施設に相応しい適正な管理運営に関する取組み【適正性】		A		A		3 公の施設に相応しい適正な管理運営に関する取組み【適正性】		
(3-1) 管理運営の実施状況		A		A		(3-1) 管理運営の実施状況		
法令や市等の指導に基づき、施設の管理運営に、適切な人員配置をされていたか。		A	管理者(常勤)サービス管理責任者(常勤)生活支援員(常勤1名・非常勤8名)看護師(常勤1名・非常勤2名内1名毎日勤務)等を配置し基準を満たしています。	A	適切な人員配置がなされている。			
法令や市等の指導に基づき、業務に必要な研修・教育が適切に行われたか。		A	虐待防止研修やインボイス研修等、職種に応じ全職員が研修に参加しました。研修終了後は研修報告会・研修報告書や研修資料の供覧を行いました。	A	研修への参加機会を確保し、職員の能力向上に努めている。			
経費の節減やサービス提供の質など、管理運営が適切に行われていたか。		A	軽微な施設修繕は職員が行い、経費削減に努めました。個別支援計画を適宜見直しサービスの標準化を行いました。	A	適切に行われている。			
施設の良好な管理運営を進めるため、新たな取り組みについて、指定管理者自ら提案・検討を進め、実施されたか。		A	医療行為が必要な利用者が増えたことから、派遣看護師(必要時依頼)を臨時看護師(毎日勤務)に変更し、より安定した医療行為を提供することができました。	A	施設の良好な管理運営を進めるための取組みが実施されている。			
< 課 題 >		公的な施設として、全職員が法令を正しく理解し、基準に基づいた質の高いサービスが提供できるよう研修や勉強会等を継続する必要がある。また、職員の欠員等はすみやかに補充し安定したサービスを提供する必要がある。			引き続き、質の高いサービス提供及び適切な施設運営に資するため、効果的な研修を実施されたい。			
< 改善内容 >		利用者の身体機能維持向上のため理学療法士訓練を継続実施しています。毎日勤務の看護師を2名体制にし、より安全な医療行為が提供できるよう努めます。			今後もサービス向上に努めることを期待する。			
(3-2) 法令順守、個人情報の保護、安全対策、危機管理体制、平等利用など		A		A		(3-2) 法令順守、個人情報の保護、安全対策、危機管理体制、平等利用など		
法令に沿った適正な事業の実施を行うだけでなく、チェック体制などの整備や機能をさせているか。		A	県に提出するチェックリストにて、法令に沿って事業運営ができているか自己チェックを行っています。令和5年度には川西市の監査も受けております。個別支援計画書作成手順等は施設長が確認し作成手順に問題がないかチェックしています。	A	適切に行われている。			
施設利用者の個人情報保護などの取扱いが適切に行われているか。		A	社協の個人情報保護規程に従って取り扱いを適切に行っています。利用者に対しては契約時に個人情報使用同意書を取り、利用者に係る書類は鍵付きロッカーに保管しています。	A	適切に行われている。			
日常の事故防止などの安全対策が適切に実施されているか。		A	「ヒヤリハット」や「事故報告書」を活用し、職員会議で再発防止策を検討し情報共有しています。また、法人内でも情報を共有し対策を提案できる体制を作っています。	A	適切に実施されている。			
防犯、防災対策などの危機管理体制が適切であるか。		A	年に2回、併設する満寿荘と合同消防総合訓練を実施しています。防犯対策として警備会社直通ボタンや防犯カメラを設置しています。また、「さすまた」を購入し設置しています。	A	適切である。			
事故発生時や非常災害時の対応についてマニュアルを作成するなど適切な対応ができるように整備しているか。		A	BCP(事業継続計画)や緊急・災害・感染症・不審者対応等のマニュアルを作成し周知徹底しています。また、適宜マニュアルを更新しています。	A	適切な対応がなされている。	カスタマーハラスメントに対するマニュアル整備は、社協全体通して統一したものを作成している。		
利用者を限定しない施設では、利用者が平等に利用できるよう配慮したか。			非該当		非該当			
利用者が限定される施設では、利用者の選定を公平でかつ適切に実施したか。		A	前月の15日までに、次月の利用希望日を確認し希望日に利用できるよう通所予定を作成しています。また、15日以降の変更も柔軟に対応しています。	A	適切に行われている。			
< 課 題 >		福祉避難所開設・運営の訓練実施とマニュアルの適宜見直しの必要がある。			近年大規模な災害が全国的に多発していることから、マニュアルの見直しや、災害に備えた訓練などを感染対策を徹底したうえで適切に実施する必要がある。			
< 改善内容 >		福祉避難所開設マニュアルやBCP(事業継続計画)の適宜見直し等を行います。			引き続き法令順守を徹底し、災害が起きても対応できるようBCPの見直しに努めること。			

						A	優	良
						B	良	好
						C	課	題
						D	要	改
						善		
施設名	ひまわり荘	管理者	川西市 社会福祉協議会		所管課	福祉部 障害福祉課		
区 分		指定管理者自己評価結果 【指定管理者記入欄】			指定管理者一次評価 【市所管記入欄】			指定管理者二次評価 【外部評価者記入欄】
評価項目及びポイント		評価レベル	なぜその評価に至ったか(説明)		評価レベル	なぜその評価に至ったか(説明)		
総 合 評 価		指定管理者自己評価結果 【指定管理者記入欄】			指定管理者一次評価 【市所管記入欄】			指定管理者二次評価 【外部評価者記入欄】
評価ランク		A			A			
・評価できる内容		川西養護学校と連携し在校生の体験実習を定期的・計画的に実施したことで、卒業生4名と新規利用契約を締結することができました。 創作活動では兵庫県肢体不自由児者美術展に出展し入賞(優秀賞2名)されるなど、利用者の創作活動の意欲向上に努めました。 災害発生時等のため非常電源設備(ポータブル発電機)を購入・設置することができました。			創作活動について、作品展への出展等、目標をもって積極的かつ具体的な取り組みが行われており、質の高い支援が提供されている。			コロナ前は、保護者が施設へ行って、いろいろな行事があった。今はそれがないが、雰囲気が良くて安心している。
・令和5年度に改善した内容		川西養護学校との体験実習を継続し行いました。 看護師の体制を「常勤＋派遣看護師」から「常勤＋臨時看護師」に変更し医療的ケアの質の向上を図ることができました。 新型コロナウイルス感染症が第5類に移行したことにより、少人数の外部ボランティアの受け入れを再開。また、利用者の意向を伺いながら、所外活動を再開することができました。			利用者のことを第一に考え、ニーズを的確に把握し、利用者のことを考えた運営が図られている。			
・令和5年度に改善したことによる効果		川西養護学校との連携を強化し体験実習を継続して実施したことにより、卒業生4名と使用契約を締結することができました。令和5年度の年間延べ利用者数は、前年度比の約620名増となりました。 ポータブル発電機の設置により、大規模停電等が発生した場合等でも「痰吸引器」や「自動栄養注入器」への電力供給が可能になりました。			新規利用者獲得に向けた体験実習を実施し、効果的な取り組みが実施されている。また、大規模停電時も医療的ケアが必要な人が安心して利用できる設備の確保に努められ、福祉避難所としてもその効果に期待できる。			
・問題があり次年度以降改善が必要な点		引き続き、新規利用者の確保が必要となる。 蛍光灯の生産が減少しているため、順次LED化を進める必要がある。 福祉避難所開設・運営訓練の実施と福祉避難所開設・運営マニュアルの適宜見直しが必要である。			大規模災害が多発する昨今、工夫を重ねた上で災害に備えた訓練や非常用設備の設置などの実施が求められる。			
・改善方法とその時期		相談支援事業所・川西養護学校等と連携し新規利用者の確保に努めます。福祉避難所開設等の訓練は川西市・法人内で協議し進めて行きます。施設修繕費予算の執行状況をみながら、川西市と協議し順次LED化を進めます。			利用者の確保を含め施設の規模にあった定員設定など新たな方策を検討すること。また、緊急性、必要性などの観点から優先順位をつけて取り組むこと。			

【記入上の留意点】
 (1)指定管理者は、自己評価記入欄に、市所管課は、一次評価記入欄に評価を記入いただきますようお願いします。
 (2)水色の表観覧にはドロップダウンで評価(A、B、C、D)が選択できます。評価欄の濃淡ピンク色の部分は、水色の部分に評価を入力すると自動的に総合評価が表示されます。